

# 第49回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 28 年 11 月 11 日（金）18：50 ～ 21：00

場 所：福岡国際会議場 4 階 中会議室 409+410

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1

参加費：1,000 円

募集定員：150 名

Field※：D（その他）

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険 他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

## テーマ：認知症

● 製品紹介「過活動膀胱治療剤 ネオキシテープ 73.5mg」 久光製薬株式会社

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：服部 文忠 先生（特定医療法人順和 長尾病院 理事長）

講演：『在宅における認知症高齢者の排泄管理について』

講師：那須 百合美 先生（訪問看護ステーションおおはま 所長）

～ 講師からのコメント ～

訪問看護ステーションおおはまでは、一人暮らしの認知症高齢者などに対し、医療機関や介護サービス事業者と密に連携しながら、在宅での排泄管理を支援しています。食事や水分摂取、服薬管理、住環境の調整、尿カテーテル管理、清潔保持など排泄管理に関連する支援の実際や認知症高齢者の方の性格や価値観、生活背景などを理解し、その人らしさを尊重した認知症ケアについて、事例をまじえながらお伝えしたいと思います。

講演：『明日は我が身』

講師：藤木 富士夫 先生（原三信病院脳神経内科 部長）

～ 講師からのコメント ～

もはや認知症は他人事ではない。明日は我が身である。認知症医療は、進歩したものの不十分。この背景は認知症の多様性にある。50 種以上の原因疾患、診断の難しさ（原因疾患が重複する）、対応の個別性、身体的問題から社会的問題を内包する規模の大きさが、それである。関わる人が同じ方向を向きながら覚悟を持って対応するしかない。同じ方向を向くには「明日は我が身である」と切実に思い、覚悟するとは「平等に迎えがくる」と腹を括ることである。人類最強の対症療法「メガネ」のような認知症医療ができないかを日々問い続けている。

閉会の挨拶：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、久光製薬株式会社  
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）  
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812  
メールアドレス：info@fukuokahaisetsu-net.org